



'To acknowledge the duty that accompanies every right'  
 Affiliated with the International Association of Y's Men's Clubs

# THE OSAKA CENTENNIAL

C/O OSAKA YMCA  
 1-5-6 TOSABORI, NISHIKU,  
 OSAKA, JAPAN

2016年4月No.407  
 Chartered July 20, 1982

主 題 Y's THEME (2015~2016)	クラブ役員 Officers
センテニアルクラブ会長 : 『楽しくそして魅力ある活動を!』 国際会長 : 『信念のあるミッション (使命・目標)』 アジア地域会長 : 『愛をもって奉仕しよう』 西日本区理事 : 『あなたならできる! きっとできる』 中西部部長 : 『和を以って貴しとなす』	会 長 : 何 早林 副会長 : 藤井 大祐 書 記 : 藤原 正巳 ドライバー : 松浦 孝次 会 計 : 大村 肇 メネット会長 : 中村 幸枝 Y連絡職員 : 池田 聡美

## Biblical Message of April

天使は婦人たちに言った。「恐れることはない。十字架につけられたイエスを捜しているのだろうが、あの方は、ここにはおられない。かねて言われていたとおり、復活なさったのだ。」  
**(マタイ24:15)**  
 更に、正しい者も正しくない者もやがて復活するという希望を、神に対して抱いています。(使徒言行録24:15)

## April Club Meeting

### 『YMCA サービス』

#### 4月第1例会

日 時 : 2016年4月20日 (水) 18:45~20:45

場 所 : ホテルグランヴィア大阪

司会 : 三浦 直之 君

- 開会 何 早林 会長
- ワイズソング 一同
- 聖句朗読 谷川 寛 君
- ゲスト・ビジター紹介 何 早林 会長
- 今月の強調月間 三浦 直之 君
- 晩餐 一同
- 卓話「道具屋筋の新たなチャレンジ」  
 道具屋筋商店街理事会理事/株式会社和田厨房道具  
 専務取締役・和田佳之氏  
 同商店街青年部部員/株式会社ドーモラボ  
 代表取締役・岡野誠司氏
- 連絡・報告・ニュース 各メンバーから
- 誕生祝い・ニコニコ献金 一同
- 閉会 何 早林 会長

お誕生日 : 隅田メネット

※プレゼントは、巻頭言執筆者の三浦直之メンがご用意ください。

例会担当 : 1班 : 大村、芝田、藤井、山田、山中の各メン

#### 4月第2例会

日時 : 2016年4月27日(水) 18:30~20:30

場所 : 土佐堀YMCA会館4階

## 日本伝統文化の魅力

三浦 直之

2月のセンテニアル例会で、茶会を体験し、山中メンのお茶の歴史のお話をお聴きしながら、茶道の一端に触れることができました。千利休によって精神文化として高められ、近頃流行の「おもてなし」の実践をすでに行ってきたと言ってもいいでしょう。

茶道のほかにも日本文化には、世界に例を見ないすばらしいものがたくさんあります。その一つに能があります。能は室町時代に成立し現代まで連綿と続いてきたものです。能の要素としては、音楽(笛、子鼓(コヅツミ)、大鼓(オコヅツミ)、太鼓(タイ)、謡い、舞い等があり又、能面、能装束と多くの要素が含まれています。そのどの一つを取っても奥深く非常に魅力に富んだものです。

先日、NHKの番組で「曾我兄弟」を見ましたが、登場人物も多く、立ち回りが激しく迫力がありました。演者も皆キラリとしたイケメンでした。この素晴らしい日本文化について、実際に舞台に出かけ鑑賞してみたいと思いました。

(次号は藤井大祐さんです)

## 【クラブ統計 Statistics】

3月		種 別	第1例会	第2例会	BFポイント	ニコニコ献金	
在籍会員	19名	メ ン	15名	9名	3月	Og	
例会出席	15名	メネット	4名	0名	現 金	0円	
うちメーキャップ		ビジター	0名	0名	累 計		
	0名	ゲ ス ト	4名	0名	切 手	204g	
出席率	78.9%	合 計	23名	9名	現 金	0円	
						3月 :	15,650円
						累 計 :	106,596円
						ファンド累計	0円

イエスの十字架上の死に続く復活は、キリスト教の教えの中核をなします。英語圏に生活する人々の「復活」(Resurrection)に関するイメージは、イエスが死に勝って蘇ること、永遠の生を得ることを意味し、希望、信仰のもとです。

さらに、2番目の聖句にあるように正しくない人も、裁きを受けるために蘇るとする考え方もあります。英語の Resurrect という動詞は、命を与え直す、例えば失脚していた人を復活させるという広い意味があるようです。復活節は、大変「おめでたい」ことです。EASTER PARADE もそのひとつです。

(聖句選/コメント：谷川 寛)

(次号は大村肇さんです)

### 3月第1例会報告

と き：2016年3月16日(土) 18:45~20:45

ところ：ホテルグランヴィア大阪・21階

桜の開花も待ち遠しいこの季節。久しぶりのホテルでの例会にゲストを含め23名が集いました。

今月のメインスピーカーは、Yの連絡職員・池田聡美さんの夫の佐神浩太郎さん=写真。所属するミズノマリンの社長の水野茂さんも同伴。ミズノマリンは14名のマリン専門のスタッフを大阪と東京に配属し、マリンエンジンのメンテナンスでプレジャーボート、業務艇のアフターマーケットをサポートする日本でも数少ないプロのマリンエンジニア集団です。

テーマは、「職人とプロフェッショナル」。その違いについて、佐神さんは、「会話力と技術」と説く。佐神さんはミズノマリンに入社して、スタッフの一人ひとりが作業の受注から修理、伝票作成まで最後まで一貫して行っていることに驚いたそうです。そこで営業力の大切さを知り、「技術」があっても「伝える」力がないとだめだということに気付いたのです。また、以前「野球のバット職人」が「麺棒づくりのソバ職人」に転向したという話から、技術には応用力があるということも知りました。

ミズノマリンは、プレジャーボート以外でも、ライフボートの検査も手掛けています。国際ルールで年1回の検査が義務付けられており、異常があればその場で修理。停泊期間を最短にして修理も行うとのこと。これはプレジャーボートで培った技術が役立っているそうです。この職種が好きだと語る佐神さんは、どんな職種にでも通じることだがと前置きし、モチベーションを維持することの大切さを語ってくれました。その後、水野社長もマイクを取り、「創業25年。車の修理からあるきっかけでボートの修理に転向したこと。その当時は参入する企業が少ない業界だった」創設当時の様子を語ってくれました。

佐神さんの誠実なお人柄あふれるお話に聞き入りました。

(中村茂高)



### ≡ Club Activities (April, 2016) ≡

On March 16, our club's March meeting was held at Hotel Granvia Osaka with a total of 23 Y's men, Y's menettes, a Y's ling and guests in attendance.

With its emphasis on EF and JWF for this month, Mr. Kouji Matsuura briefed us on its purpose and meaning. The highlight of the meeting was a speech made by Mr. Kotaro Sagami, husband of Ms. Satomi Ikeda, our liaison officer of the Osaka Y. Mr. Sagami is an engineer of Mizuno Marine Co., Ltd., based in Osaka - a top engineering company in Japan in maintenance services of various types of marine diesel engines of pleasure boats, life boat of luxury cruise ships and Japan's navy (maritime self-defense force) boats as well.

Mr. Sagami spoke under the theme, "What is the difference between craftsmen and professionals?"

What he told us was his strong belief and business philosophy which he acquired through his inspiring experiences in his career. According to Mr. Sagami, professionals must have, at least, two fundamental abilities, such as communication skills and sales abilities in addition to the technical knowledge of their own field. Talking about the technology itself, Mr. Sagami said that professionals always pursue the knowledge outside of their special field, thus widening their technologies. He also covered many other interesting topics related to his theme. We were all much impressed with his speech and now very much look forward to receiving him as our club member quite soon.

After Mr. Sagami's speech, Ms. Satomi Ikeda, his spouse reported recently televised special documentary program of the Yomiuri TV on the successful achievements made by the human communication course of the Osaka Y professional school which has been opened for those children suffering from LD, ADHD and high functioning autism in 1996. Ms. Ikeda, a director of the course spoke about rather sensational responses she received to the program from many televiewers. As we have supported the course since its foundation, we were also very happy to hear the good news. Yen 15,650 was collected for the club's (niko-niko) smiling fund.



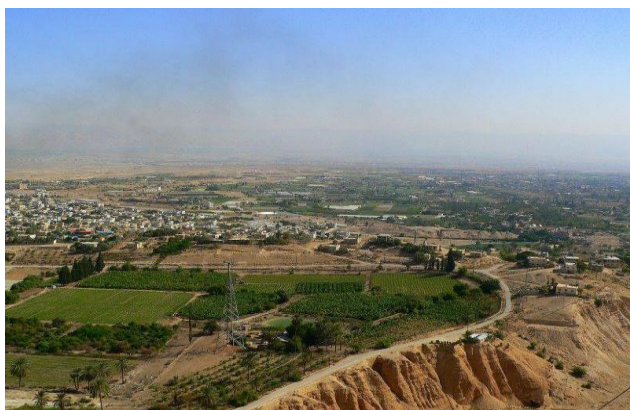
Jericho, Jericho, ----で始まる黒人霊歌をご存知でしょう。歌詞は次のように続きます。Joshua fit the battle of Jericho, Jericho--- and the walls come tumbling down. God knows that Joshua fit the battle of Jericho, Jericho---- Joshua fit the battle of Jericho, Jericho,.... “ジェリコの戦い”というこの歌は旧約聖書に登場する古代イスラエルの物語です。モーゼの後継者ヨシュア（英語名 Joshua）によるカナンの都市ジェリコの攻略を歌った歌です。この戦いの歌が黒人霊歌になりました。今から 3000 年の昔、モーゼに率いられたイスラエルの民は、エジプトを出た後 40 年間シナイの砂漠を彷徨い、その後、ヨシュアの指揮の下、待望のカナンの地に入りました。そこで最初に攻め入った町がジェリコでした。（旧約ヨシュア記6章）

現在、ジェリコはエルサレムから車で約一時間の距離にあり、パレスチナ自治区に属します。一万年の歴史をもつ世界最古の都市です。パレスチナ政府は、観光事業に力を入れており、日本政府は JICA を通じて重点的に、この観光事情を支援しています。ジェリコに入ると、古代遺跡の所々に日本とパレスチナ協力事業であることを表す標識があり、そこには From the People of Japan to the People of Palestine と書かれています。

ジェリコは古代から存在するオアシスの町でもあります。古代の遺跡がたくさんあり、冬でも暖かくリゾート地としても人気があります。下の写真は古代遺跡の一つであるヒシャム宮殿の写真です。昨年末来日したパレスチナ人グループから入手しました。



古代遺跡の一つであるヒシャム宮殿



現在の Jericho

## 3月第2例会報告

と き：3月23日（水）18:30～20:00

ところ：大阪 YMCA 会館4F

出席者：石津、大村、岡本、芝田、中村茂、藤原、何、三浦、山田の各メン

報告/協議事項、

### 〈ワイズ活動〉

- ① 「六甲山 YMCA に集まろう」6名  
4/16（土）10:00～17:00 場所：六甲山 YMCA  
作業 17:00～BBQ 5名
- ② 「ワイズの森づくり・うなぎの森植樹祭」  
5月8日（日）10:00～14:00 場所：神峯山寺
- ③ 西日本区大会 6月25日（土）～26日（日）  
申込期間：5/20 10名  
場所：松下 IMP ホール
- ④ 国際大会・台湾 8月4日（木）～7日（日）  
申込締切：5/31 1名（1名検討中）

### 〈クラブ〉

- ① 5月「ヴォイスピラティスを体験」  
音楽家・檀之上美穂さん  
角地さん、木下順子さん（メンとして）入会式。
- ② 6月例会「国際金融」（仮題）谷川メン
- ③ 次期役員：会長：藤井、副会長：何、未定、書記：藤原、  
会計：岡本、EMC：石津、その他は留任

（第2例会議事録より抜粋）

### ファミリーコンサート2016開催

3月26日、大阪 YMCA 会館で、落語会に代わる、記念すべき「第1回ファミリーコンサート」（なかのしまクラブ共催）が250名を集め開催しました。小さな子どもが参加できる親子で楽しめるものという何会長の企画と、声楽家・角地正直、中井祥子夫妻＝写真の協力で大きな成功を収めることができました。オペラ「椿姫」、「アヴェマリア」のクラシック曲に続き、ディズニーメドレー、「ジブリ」の曲が流れると、座席前に敷かれたブルーシートに座っている子どもたちも目を輝かせました。朗々とした二人の熱唱に、会場中が聞き入りました。樋口友佳子（ピアノ）、山之内悠子（ヴァイオリン）もすばらしい演奏を聴かせてくれました。





## ニコニコ・メッセージ



【Messages from the Club Members】

### 《ビジターからのメッセージ》

○職人さんとプロフェッショナル、家業の石材店も同じところがあり、面白かったです。メネットの皆さまともお話しやすくなってきて、楽しく過ごさせて頂きました。有難うございました。  
(中井 祥子)

### 《会員、メネットからのメッセージ》

○久しぶりのホテルグランピアでの例会、美味しい食事に満足しました。この食事の味もプロフェッショナルだと思います。  
(石津 雅人)

○一連の流れで仕事をする事の大切さを感じました。人とのつながりを大切にすることが自分自身を豊かにすると思いました。1年間有難うございました。  
(池田 聡美)

○久しぶりのグランヴィアでの例会で、佐神さんの卓話を聞くことができ、大変良かったです。佐神さん、是非クラブに入会して下さい。  
(大村 肇)

○佐神様のお仕事、お人柄がよくわかった卓話でした。ゲストの社長、木下さんと、今後メンバーが増えそうな予感がします。  
(岡本 剛介)

○中川さんがお子様を連れて参加して下さい、またご友人も一緒に、楽しく賑やかな例会となりました。  
(坂本 千春)

○水野社長様、佐神様、今日はプレジャーボートに関する卓話を有難うございました。“職人”と“プロフェッショナル”の違いが分かりました。  
(芝田 光雄)

○楽しい例会に出席できて嬉しかったです。有難うございました。  
(隅田 恵子)

○「プロフェッショナル」というお話、興味を引く話でした。  
(谷川 寛)

○隅田さんにお会いできて嬉しい例会でした。  
(中村 幸枝)

○仕事へのあくなき探究心の結晶の様な卓話を頂き、感謝です。上司や奥様、それにまだまだ気心のしれない年長の聴衆を前に、堂々とした素晴らしいプレゼンテーションでした。素敵なお様を得て、今後、公私共益々のご発展を祈念しております。  
(藤原 正巳)

○ファミリーコンサートまであと1週間です。頑張りましょう！素晴らしい卓話をして頂き、有難うございました。  
(何 早林)

○お佐神さんの「技術力+説明力=総合力」が大切だというお話は、プロとしてのご経験とご自覚によるものと感銘を受けました。これからも頑張りして下さい。池田さんと一緒に仲良く！！  
(松浦 孝次)

○グランヴィアでの久しぶりの卓話会がよい時間で、勉強になりました。有難うございました。  
(松田 明久)

○佐神さんのプロフェッショナルについてのお話、大変参考になりました。プロフェッショナルとは優秀な技術+会話力(コミュニケーション)であることに共鳴致しました。  
(三浦 直之)

○毎月のことですが、私の属する「センテニアルY's」、妻の所属する「なかのしまY's」、毎月2回のY's集会に参加して“2つのY's]それぞれの活気に触れることができ、自分の「歳」を忘れ、活気を頂いております。「感謝…。」  
(山田 孝彦)

○佐神浩太郎さんの“職人とプロフェッショナル”大変興味深い卓話であった。プロフェッショナル、NHKの特集番組を思い出させたが、要するに名前を名乗り、ブランド力で勝負することと理解した。  
(山中 秀男)

○母が97才を元気で迎えました。感謝です。佐神様、プロフェッショナルと職人のお話、有難う存じます。  
(山中ちあき)



### ☆第276回 早天祈祷会

日時 2016年4月15日(金) 7:30?8:30

奨励 石井 和典さん(大阪のぞみ教会 牧師)

場所 大阪 YMCA 会館 10階チャペル

★卒業生の答辞の中に、「表コミに入学する前、ここが天国だと思っていました。でも実際は、人と関わる表コミだからこそ、たくさんの葛藤があり、苦しみがありました。そのことを考えると表コミで良かったと言うことはできないけれど、これだけはハッキリ言えます。17年間感じる事のできなかった『生きてて良かった』と感ずることができました」とありました。

人と関わるということは、簡単なことではありません。不登校時代、家で自分をしっかりと守ってきた子どもたちが、勇気を持って外の世界に出てきて、人と関わる。そこには、今まで感じたことのない苦しみや葛藤があるかもしれません。ですが、その気持ちを高校3年間で感ずること、このことが大切だと感じています。

そして、何よりも自分自身でその葛藤を乗り越えた達成感が自信に繋がるのだと教えてもらいました。

(池田 聡美)

### 後記

満開の桜の花を見て、ようやく長かった冬から解放された、待ち焦がれた春の到来を万感する今日この頃です。

3月26日のファミリーコンサートでは、私も一族郎党10名を引き連れ参加させました。角地、中井夫妻のあれだけたくさんの曲を歌いこなしたコンサートは他に見たことがありません。大変な体力とエネルギーを使われたことと思います。子どもも大人も圧倒的な音楽の魅力を感じた一日でした。また新たなクラブの1頁が開かれたような気がします。角地、中井夫妻に感謝です。

S.N